

JR東日本ユニオン

東日本大震災 ニュース

ジェイアール東日本労働組合
(JR東日本ユニオン)

震災対策本部

2011年4月18日

水戸地本いわき地区の仲間は 災害にも負けず元気でした！

あの言葉を失った大津波、ただあぜんとするしかなかった。地球は人類の思いや計画とは関わりのない「生理現象」を繰り返している。それが人知を超える規模で生じて今回の大災害となった。まさに、人類がいまだ体験したことのない未曾有の国難である。

この大震災前にいわき地区組合員観桜会を予定していた4月15日（金）、いわき地区の仲間が、一ヶ月振りに顔を合せ、安全確認全体集会を開催した。集会には20名の仲間が集まり、お互いの安全を確認しあった。

今井本部長とJR連合慶島組織部長（東京から郡山まで新幹線、郡山からいわきまで高速バス）が参加して近況報告討論に加わった。戦後最大の国難に際し、日本再生と鉄道復興に全体で協力して危機に臨まなければならないことを認識しあった。いわき地区の仲間からは、常磐線の再起のために進んで次のステージを準備して行くよう求められた。

いみじくも、いわき市は桜が満開…まるで何も無かった様に咲き誇っていた…しかも例年とは違う色の様に咲いていたように見えた。

美しい自然…怖い自然災害…これが現実である。水戸地本の仲間を支え合おう！！



全地本力を合わせてガンバロー！！